

みんなのSmile便り ☺



当院では救急車を受け入れています。ご協力をよろしくお願いいたします...

みなさん、こんにちは。
 寒い日が続きますが、お変わりないでしょうか。
 きくち総合診療クリニックは、土日祝日も診療しており、「いつでも、だれでも、なんでも診る」というスタイルのみなさんのかかりつけクリニックです。いつでも、小児診療もしています。
 整形外科の医師の診療は、電話でご予約もとれますので、首、肩、腰、膝の痛みのある方は、一度ご相談ください。詳しくは、ホームページ内の毎月の担当医表でご確認ください。
 総合病院との緊密な連携もとれております。
 今年は暖冬により、インフルエンザの流行が2月・3月のようです。いつもより睡眠を多くとり、うがい・手洗いをこまめにお願ひします。
 スマイル便りは、次回3月に発行いたします。
 きくち総合診療クリニックは、救急診療・総合診療を通じて、地域医療に最大限に貢献します。

院長 菊池



2月・3月の 休診と診療時間変更

2月17日(月) ~17:00

21日(金) 休診

22日(土) 休診



3月16日(月) ~17:00

28日(土) ~18:00

30日(月) ~18:00

31日(火) ~17:00

2月から、毎週水曜日は医師2人で診療いたします。

混雑時には、呼び出しブザーをご利用ください☺



~乳腺エコー・心臓エコーについて~

3月より、検査を再開いたします。

<乳腺エコー>

3月9日(月) 15:00~18:00

21日(土) 15:00~18:00

<心臓エコー>

3月15日(日) 9:00~13:00

完全予約制となります。

詳しくは、お問い合わせください。



お知らせ

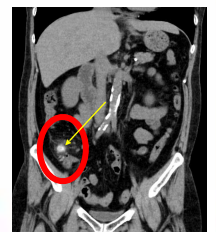
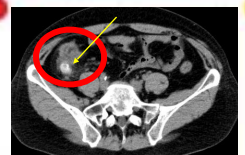
2020年4月にきくち訪問看護ステーションをはじめます。
 土日祝日診療のクリニックならではのサービスをはじめます。
 お問い合わせは、090-4922-6173 (担当 西迺) です。
 宜しくお願いします。

当院の画像診断例...

53歳女性 腹痛・胃痛で来院。
 CT検査で憩室炎が見つかり、投薬治療を行った。
 CT画像の○の部分の腸が炎症を起こしている。
 矢印の白くなっているところが憩室である。

※憩室炎

憩室炎とは、何らかの原因で憩室とよばれる部分に細菌感染が起こり、腹痛や発熱といった症状が現れることを指します。憩室とは、消化管の壁の一部が内側から外側に向かって袋状に突出したものをいいます。憩室ができるメカニズムは、大腸の運動異常が起こることによって腸管の中の圧力が高くなり、大腸の圧力に弱い部分が外側に突出して袋状の憩室ができると考えられています。食物繊維の摂取が長期間にわたって不足すると、こうした腸の運動異常を起こしやすくなり、憩室ができやすいつわられています。



◎ひとことコラム...冬の感染症~ノロウイルスについて~

ノロウイルスは感染力がとても強く、1~100個と少量のウイルスでも感染するため、集団感染が起きやすいことが特徴です。ウイルスの潜伏期間は24時間~48時間。主な症状は吐き気や突然の嘔吐・下痢、腹痛で、一般的に発熱は軽度です。通常このような症状が1~2日続いた後、回復に向かいます。このウイルスに効果のある抗ウイルス薬はありません。特に体力の弱い乳幼児・高齢者の方は脱水を起こしたり、体力消耗しないように水分と栄養補給を十分にいきましょう。